

“もったいない”を減らしています

Fine Report Vol.079 October.1.2022



イオン北海道は食品廃棄物削減に向けた取り組みを行っています

イオン北海道は、2025年に2015年度比32%減（売上高100万円あたり19.0kg）を目標として、食品廃棄物削減に向けた取り組みを行っています。

一例として、一部店舗の水産売場では真空包装する機器を導入しているほか、昨年より稼働したイオン石狩PCの畜産部門では、ガスフラッシュMAP包装機を導入しています。これらの機器の導入によりこれまでより鮮度が長持ちし、食品廃棄物削減につながります。また、イオンのプライベートブランド「トップバリュ」では、賞味期限が1年以上の加工食品を順次、「年月表示」へ移管しています。

さらに2022年6月からは、イオン札幌平岡店において、お客さまにお持ちいた

いた未開封かつ賞味期限内の加工食品を、必要とされる団体にお届けする取り組み「フードドライブ」を実施しています。お客さまからお預かりした商品は、イオンモール札幌平岡にて「ひらおか子ども食堂b(ふらっと)」を運営する、NPO法人たすけ愛ふくろう清田などへ寄贈しています。

当社は、「もったいない」を減らすため、これからも食品廃棄物削減に努めてまいります。

SDGsの取り組み

12 つくる責任 つかう責任
SDGs(持続可能な開発目標)とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標12の達成に貢献します。